

東証一部(証券コード 6848)

機関投資家向け会社説明会

東亜ディーケーケー株式会社

2018年12月4日

代表取締役社長 高橋俊夫

1. 会社概要

2. 2018年度上期実績 および通期業績予想

3. 事業進捗

注記がない限り、本資料に記載された財務数値及び業績予想は、原則として連結ベースで記載しております。
本資料の金額は単位未満切捨てで表示しております。これにより、合計が合わない場合があります。
比率は小数点第1位未満四捨五入で表示しております。

「水・大気・ガス・医療」分野の総合計測機器メーカー TOA DKK

経営理念

『誠実・創造・挑戦』をモットーに
地球環境保全と豊かで人にやさしい
社会環境の実現に貢献します。

概要

代表取締役社長： 高橋 俊夫

所在地： 東京都新宿区高田馬場一丁目

設立： 1944年9月

資本金： 18億4,248万1千円

従業員数： 連結 634名 単独 352名

事業所：
▶ 狭山市：狭山テクニカルセンター・
開発研究センター・
医療関連機器生産棟
▶ 東大和市：東京エンジニアリング
センター

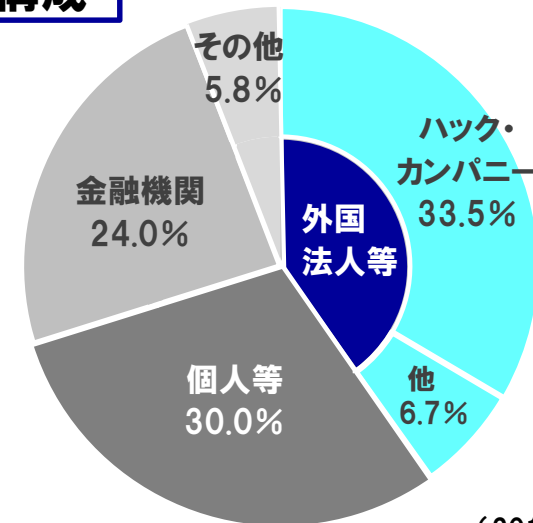
営業拠点： 国内13拠点

連結子会社： 国内6社

略歴

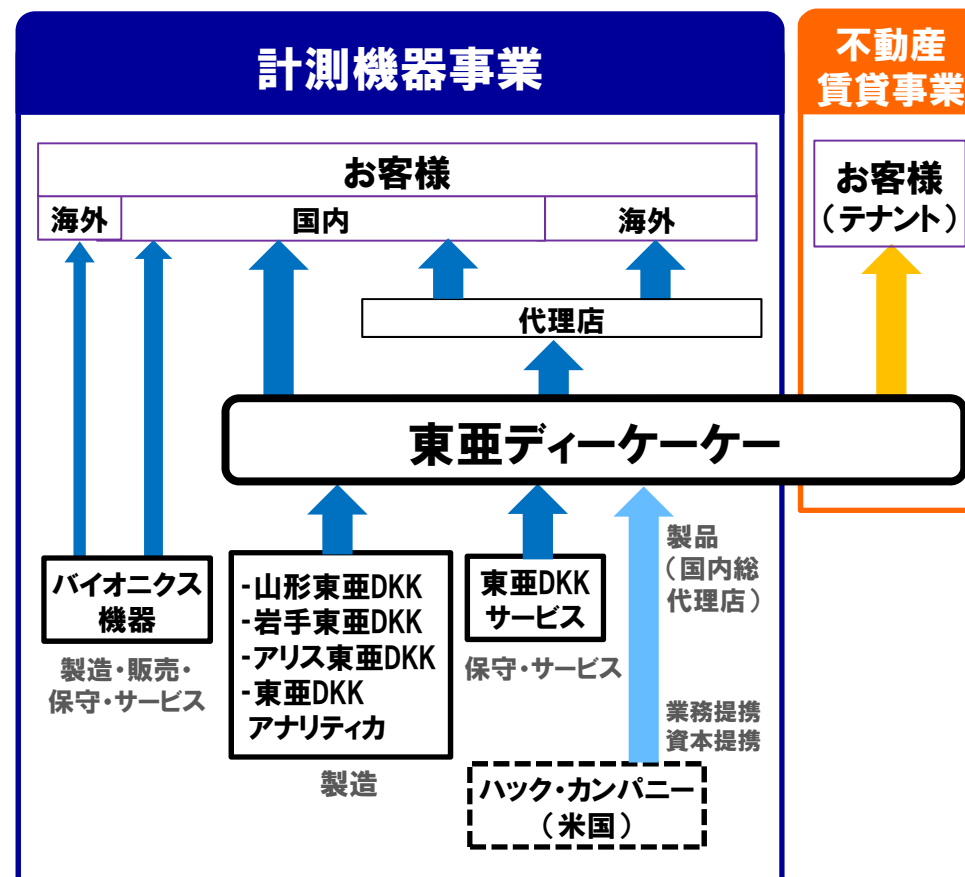
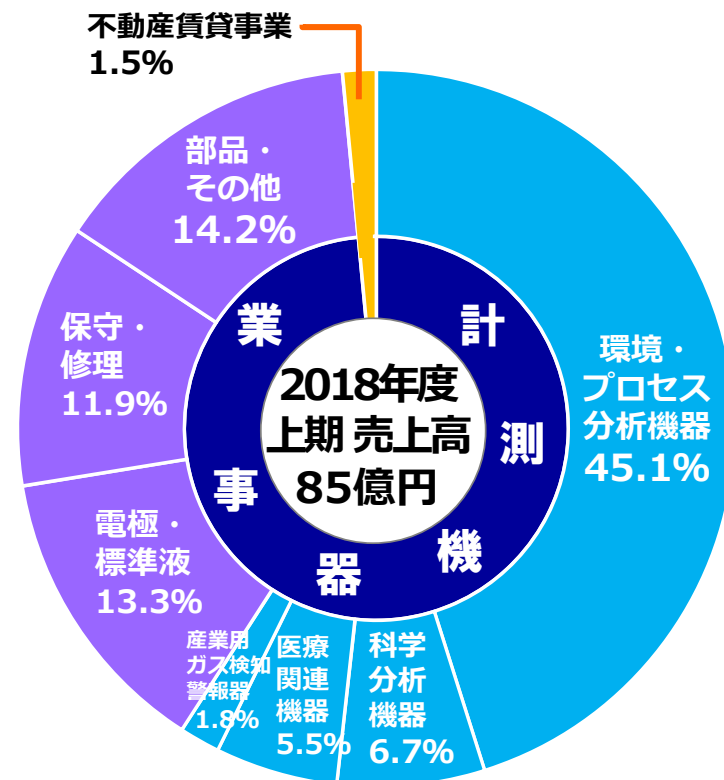
- 2000年 東亜電波工業と電気化学計器が合併し、東亜ディーケーケー 誕生
- 2005年 米国HACH(ハック)と業務・資本提携
- 2013年 東証第一部指定銘柄
- 2014年 創立70周年

株主構成



(2018年9月末現在)

売上構成と事業系統



当社の強みと計測機器の用途分野



当社の強み

- 創立以来のpH計、電気伝導率計などの保有技術は幅広い用途に対応
- 公的機関から幅広い業種の企業とお取引
- 開発・製造・販売からアフターサービス(保守・修理)までの一貫体制

水	大気	ガス	医療
環境・プロセス分析機器  水道水用水質自動測定装置  pH計変換器  電気伝導率計  油膜検知器  全窒素全りん計	 PM2.5測定装置 国内シェアNO.1  大気SO ₂ SPM測定装置	産業用ガス検知警報器 	医療関連機器  透析用薬剤溶解装置  NEW エンドキシン計
科学分析機器  ラボ用水質計  ポータブル用水質計			

1. 会社概要

2. 2018年度上期実績 および通期業績予想

3. 事業進捗

注記がない限り、本資料に記載された財務数値及び業績予想は、原則として連結ベースで記載しております。
本資料の金額は単位未満切捨てで表示しております。これにより、合計が合わない場合があります。
比率は小数点第1位未満四捨五入で表示しております。

2018年度上期実績



■売上高は国内・海外ともに好調に推移し増収

☞ 主力の環境・プロセス分析機器の中国向け輸出の大幅な増加と国内販売の順調な進捗、医療関連機器の生産拡大等

■利益は、原価率上昇や販管費増加があるも、売上高の大幅な増加により増益

☞ 単月黒字化 **109か月** 連続記録達成(2009年9月から9年1か月)

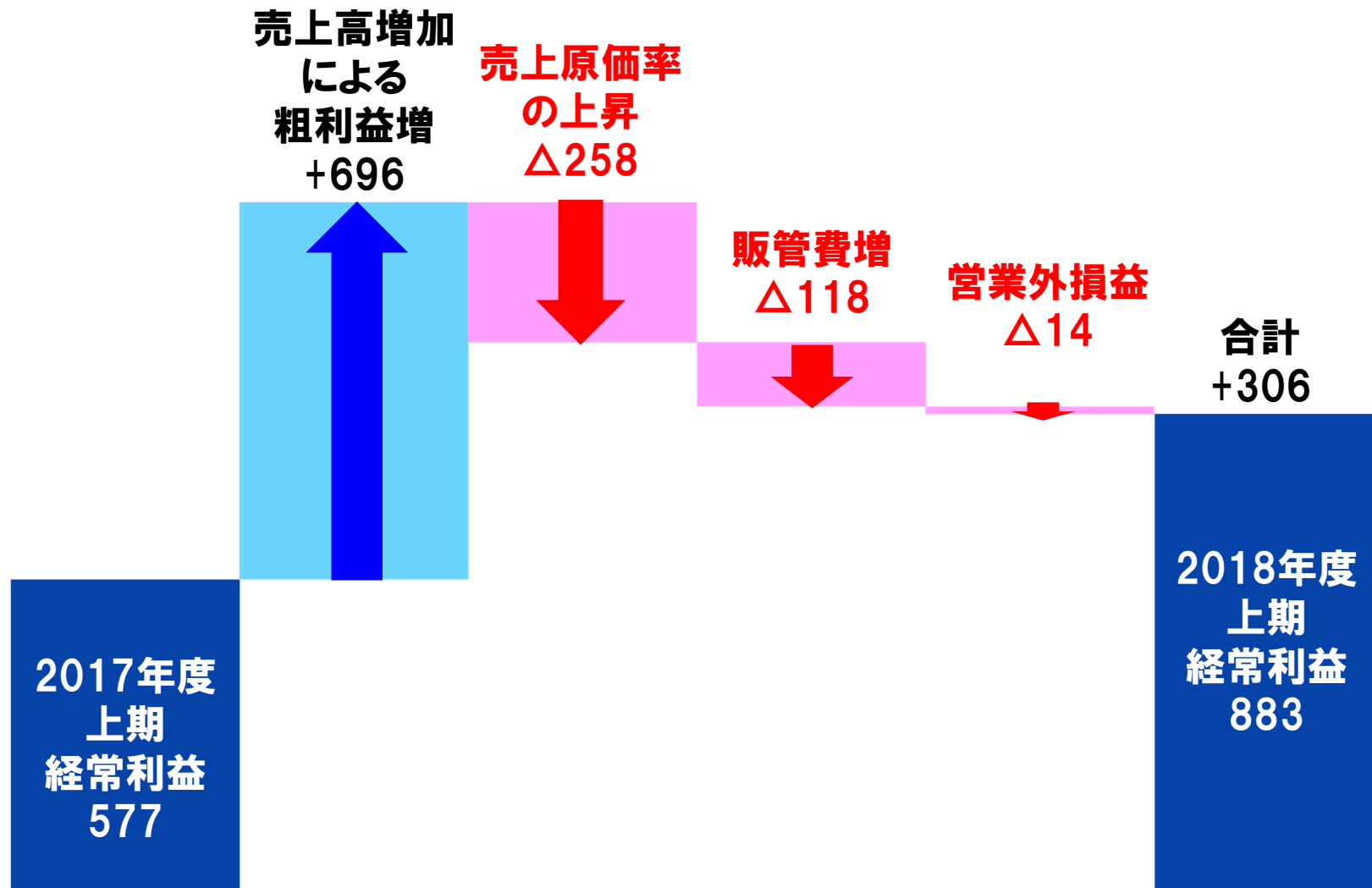
(単位:百万円)

	2017年度 上期実績	2018年度 上期実績	前年同期比増減	
			金額	率
売上高	6,779	8,515	+1,735	+25.6%
計測機器事業	6,648	8,386	+1,738	+26.1%
不動産賃貸事業	131	129	△2	△1.8%
営業利益	548	868	+320	+58.3%
売上高比	8.1%	10.2%		
経常利益	577	883	+305	+52.9%
売上高比	8.5%	10.4%		
親会社株主に帰属する 当期純利益	358	572	+214	+59.7%

経常利益増減分析(前年同期比)



(単位:百万円)



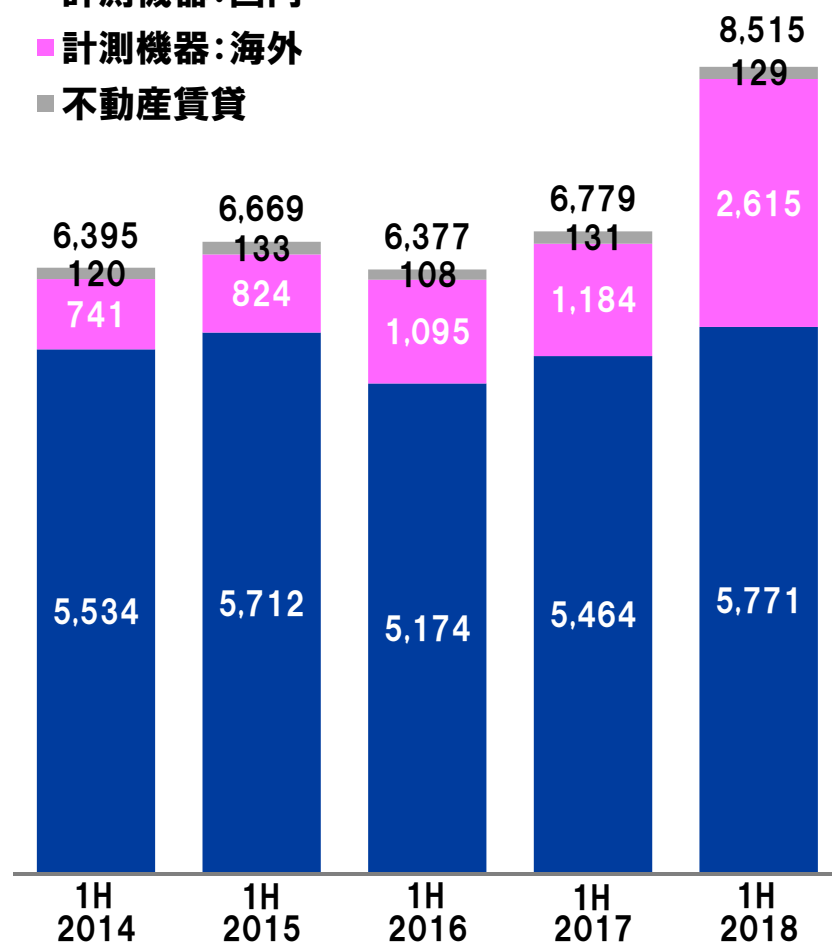
国別売上高推移



(単位:百万円)

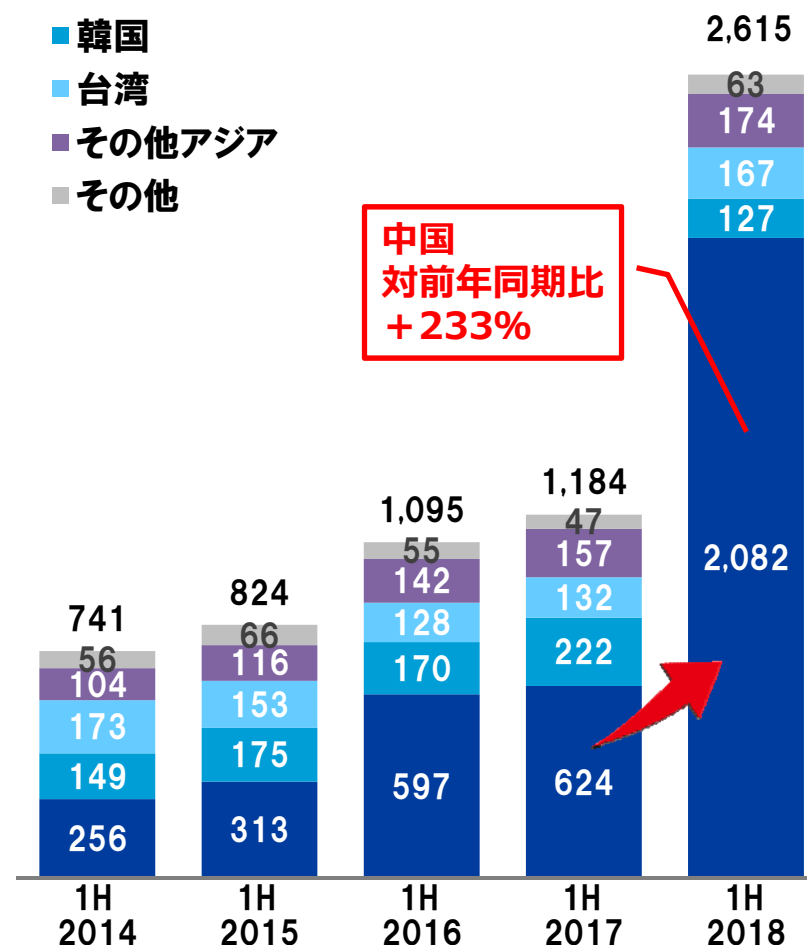
国内外の売上高

- 計測機器:国内
- 計測機器:海外
- 不動産賃貸



海外の国別売上高

- 中国
- 韓国
- 台湾
- その他アジア
- その他

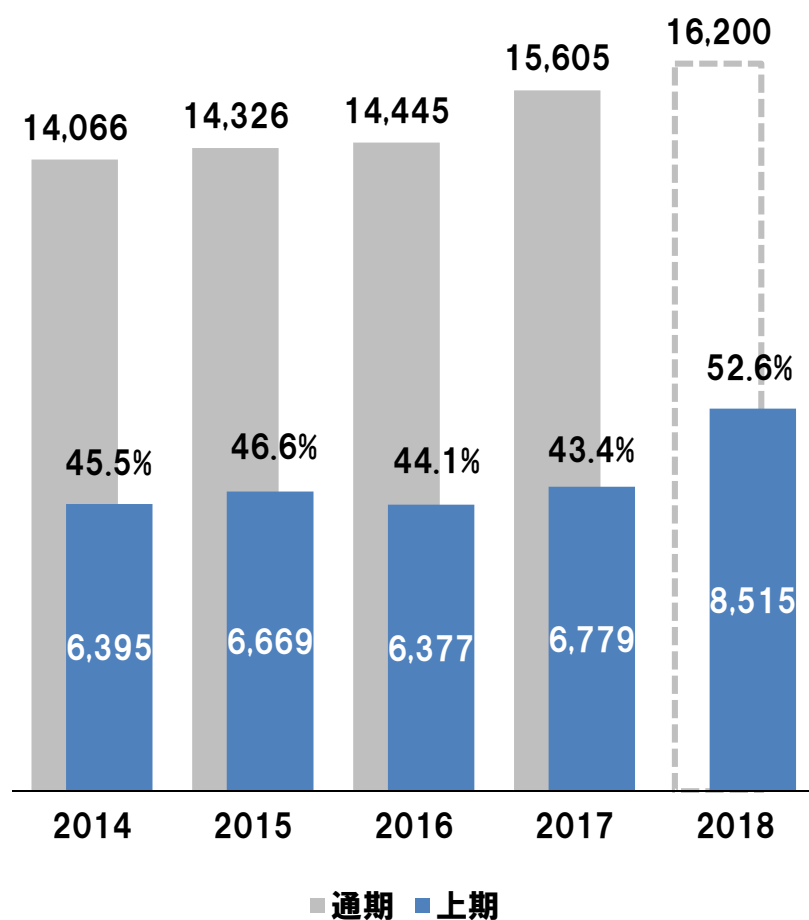


上期進捗率推移

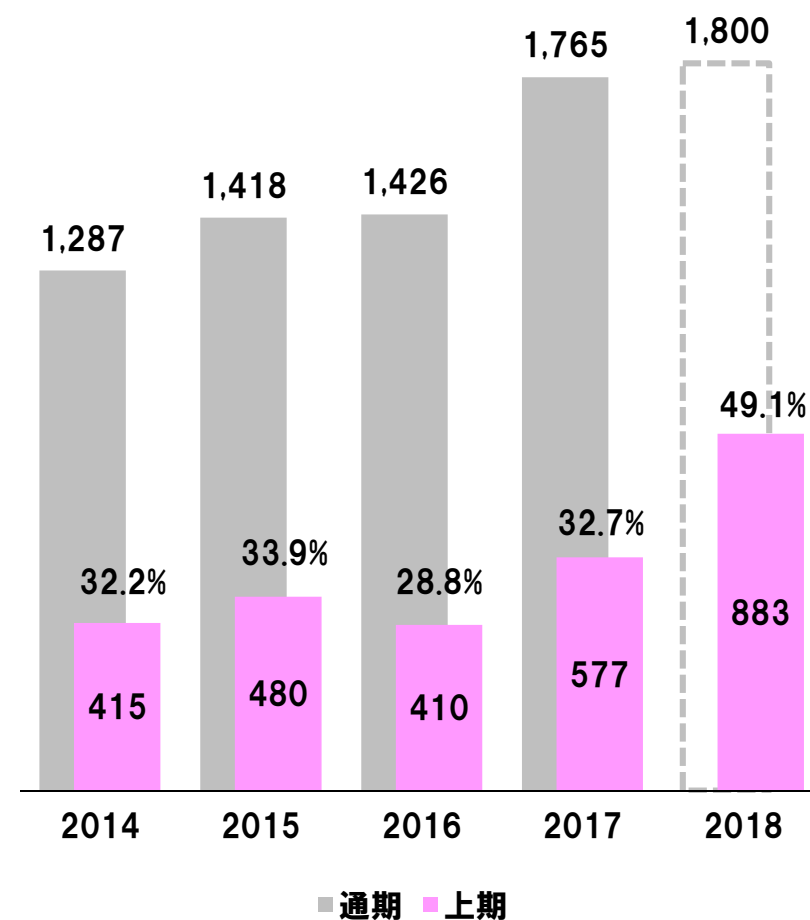


(単位:百万円)

売上高



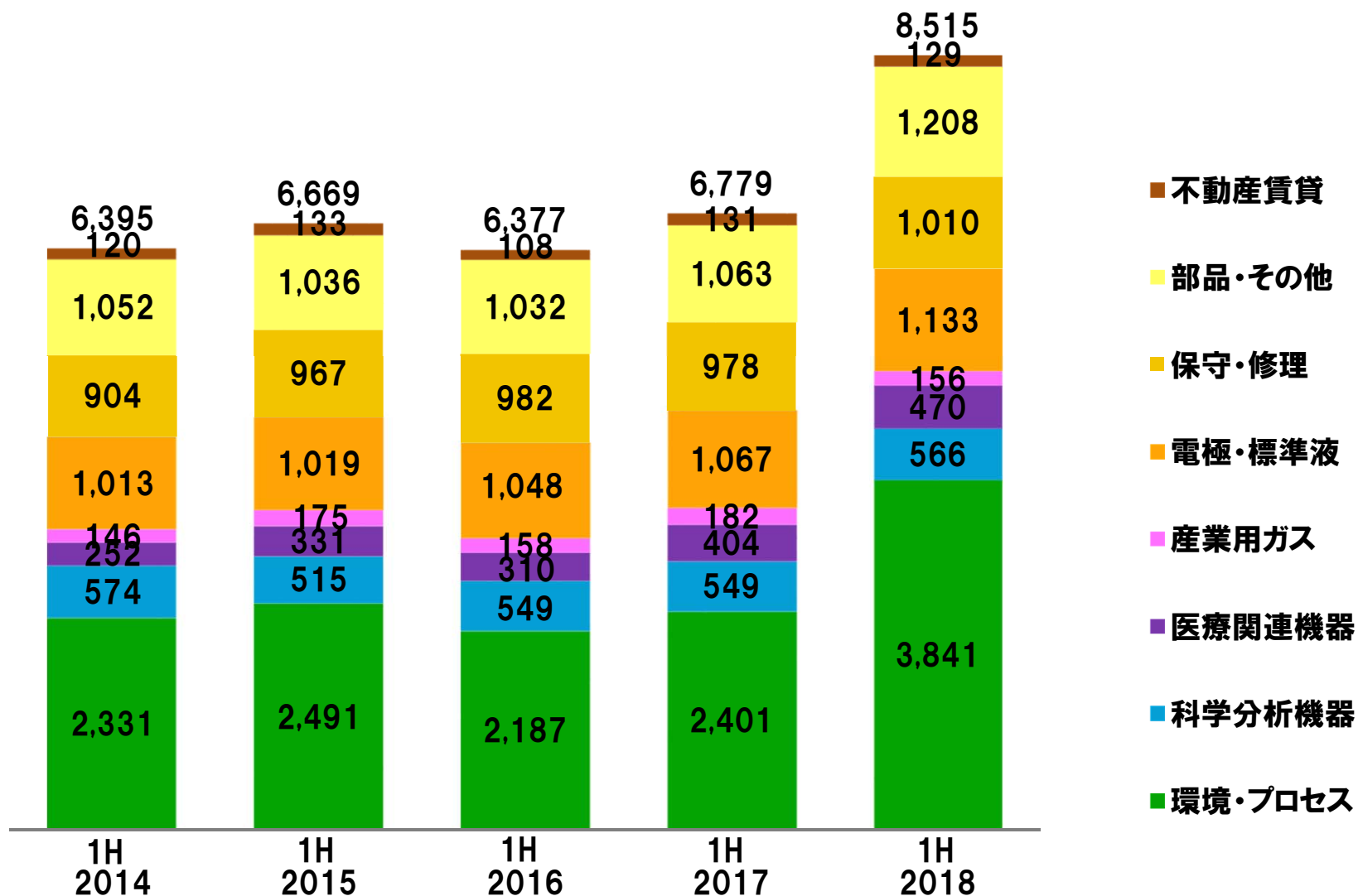
経常利益



分野別売上高構成推移

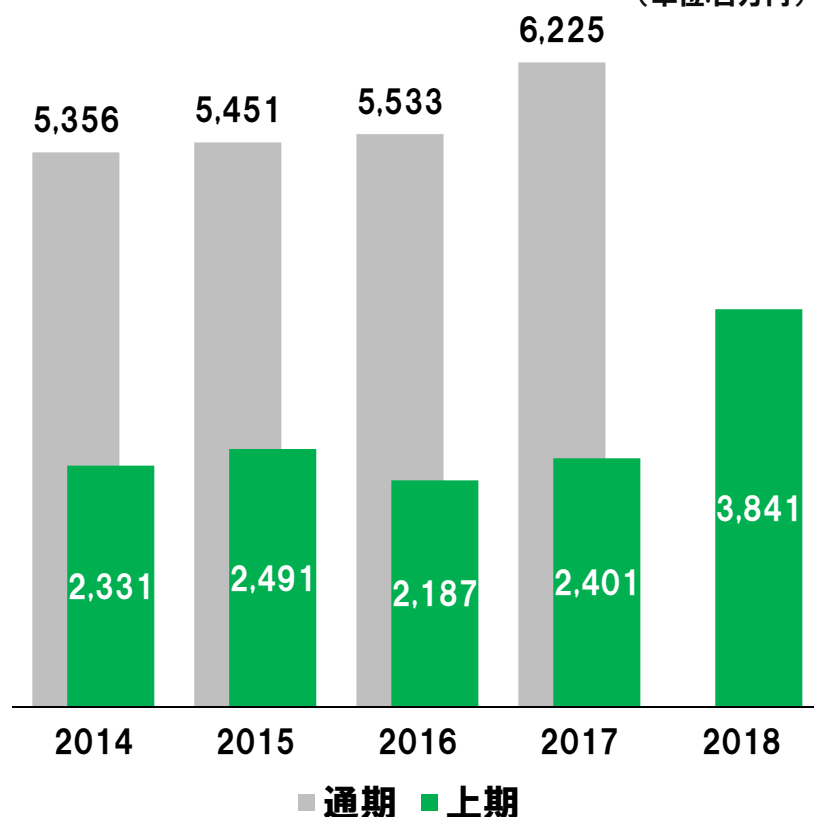


(単位:百万円)



環境・プロセス分析機器売上高

(単位:百万円)



■ 前年同期比 **+59.9%**
(2017年度上期 vs 2018年度上期)

水

- 国内: 上下水道用分析計、発電プラント向けボイラー水用分析装置、更新需要の販売好調
- 海外: 中国の水質汚染防止法に基づく特需により環境用水質分析計が好調

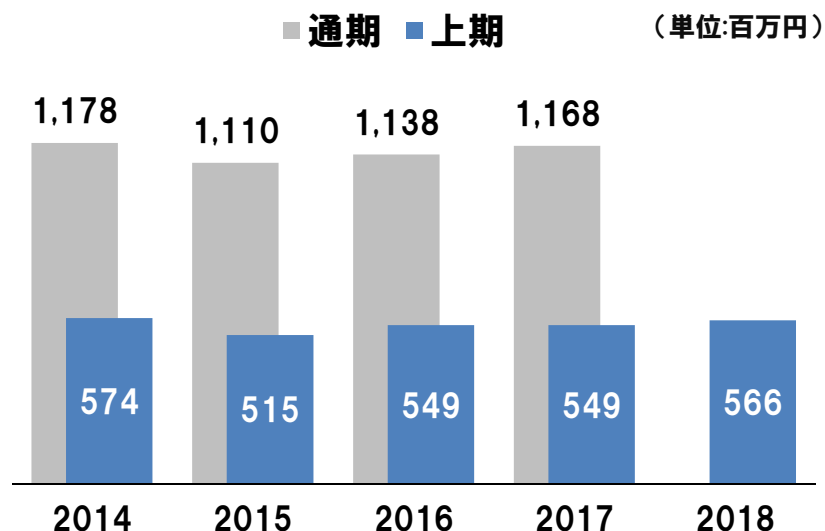
大気

- 国内: 新設需要は一巡
- ☞ 引き続き国内の更新需要の獲得と、中国・韓国の大気市場の開拓・受注獲得に注力

[主要分野] 科学分析機器・医療関連機器



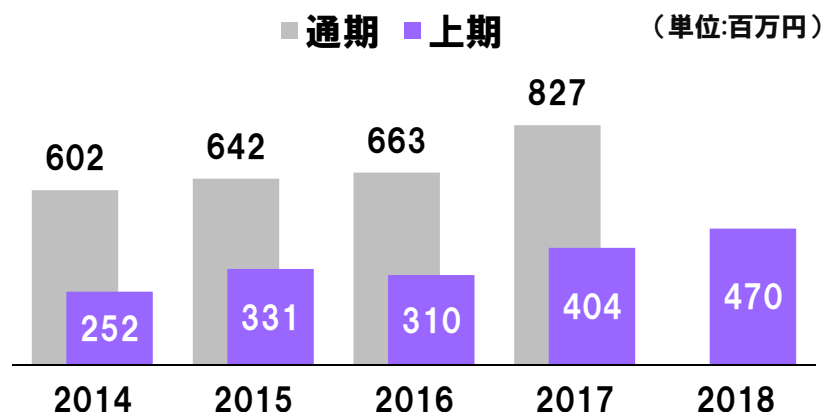
科学分析機器売上高



■ 前年同期比 **+3.0%**
(2017年度上期 vs 2018年度上期)

- ラボ用分析機器(卓上型水質計Xシリーズ)が好調
- ☞ 技術セミナーの開催や代理店との連携強化で販促を図る

医療関連機器売上高

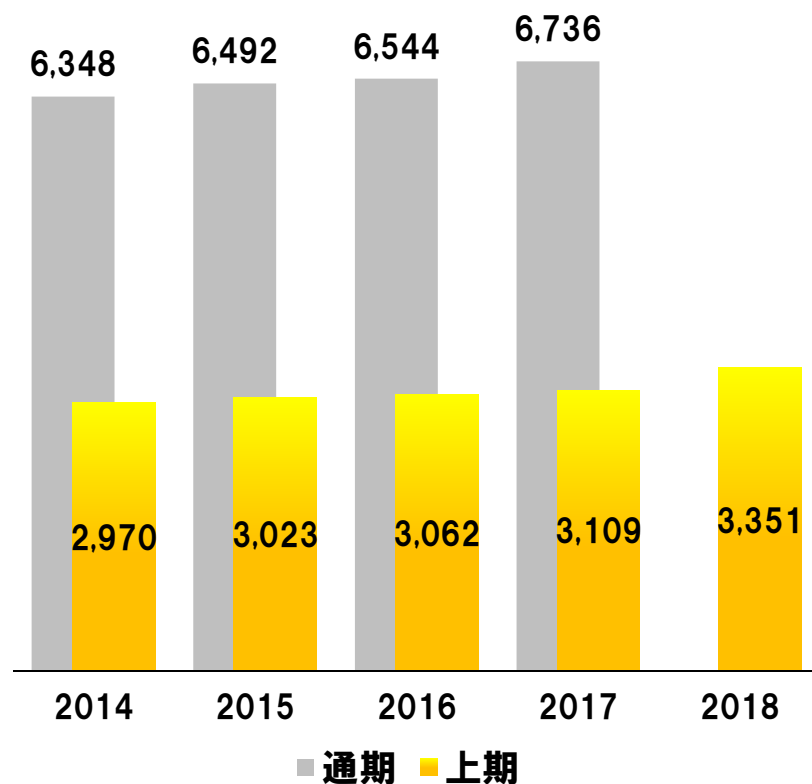


■ 前年同期比 **+16.3%**
(2017年度上期 vs 2018年度上期)

- 大手医療機器メーカーの受注好調と新規契約先供給開始により増加
- 2017年10月から開始した新生産棟での増産が寄与

保守・補用品売上高

(単位:百万円)



■ 電極・標準液

前年同期比 **+6.2%**
(2017年度上期 vs 2018年度上期)

■ 保守・修理

前年同期比 **+3.2%**
(2017年度上期 vs 2018年度上期)

■ 部品・その他

前年同期比 **+13.6%**
(2017年度上期 vs 2018年度上期)

- 機器販売の増加に伴い、全体では前年同期比7.8%増
- ☞ 保守・点検等の技術サービス事業の拡大を促進

2018年度通期業績予想



■国内(環境計測)

- ・環境省第5次水質総量規制時に販売した機器の更新需要に引き続き対応
- ・景気回復による設備投資の活発化でプロセス機器の需要も好調と予想
- ・4月1日付でメタウォーター社から譲り受けた水道用水質計の事業展開

■国内(医療関連計測)

- ・新棟での生産が軌道に乗り、大手医療機器メーカーからの受注も増加見込

■海外

- ・旺盛な需要が続く中国をはじめアジア地区で積極的な営業活動

(単位:百万円)

	2017年度 実績	2018年度 予想	前期比増減	
			金額	率
売 上 高	15,605	16,200	594	+3.8%
営 業 利 益 売上高比	1,704 10.9%	1,740 10.7%	35	+2.1%
経 常 利 益 売上高比	1,765 11.3%	1,800 11.1%	34	+2.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,230	1,260	29	+2.4%

1. 会社概要

2. 2018年度上期実績 および通期業績予想

3. 事業進捗

注記がない限り、本資料に記載された財務数値及び業績予想は、原則として連結ベースで記載しております。
本資料の金額は単位未満切捨てで表示しております。これにより、合計が合わない場合があります。
比率は小数点第1位未満四捨五入で表示しております。

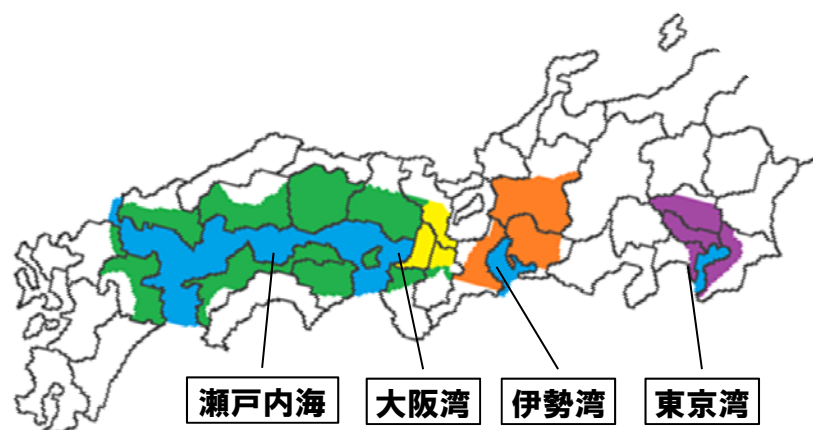
📍 第5次水質総量規制*の更新需要に対応

*閉鎖海域で排出される有機汚濁物質の総量を規制する制度。

第5次水質総量規制では、従来のCOD(化学的酸素要求量)に加え、新たに窒素・りんが規制の対象となった。

適用日:2002年10月1日、 目標年度:2004年度

水質総量規制の指定水域および指定地域



主な環境用水質分析計



🟡 メタウォーター株式会社から譲り受けた 5機種を本格的に販売

👉 水道事業の広域化に対応し、製品ラインナップ拡充

譲り受けた分析計5機種



ハイブリッド形
微粒子カウンタ



卓上型
ハイブリッド
微粒子計



高感度濁度計



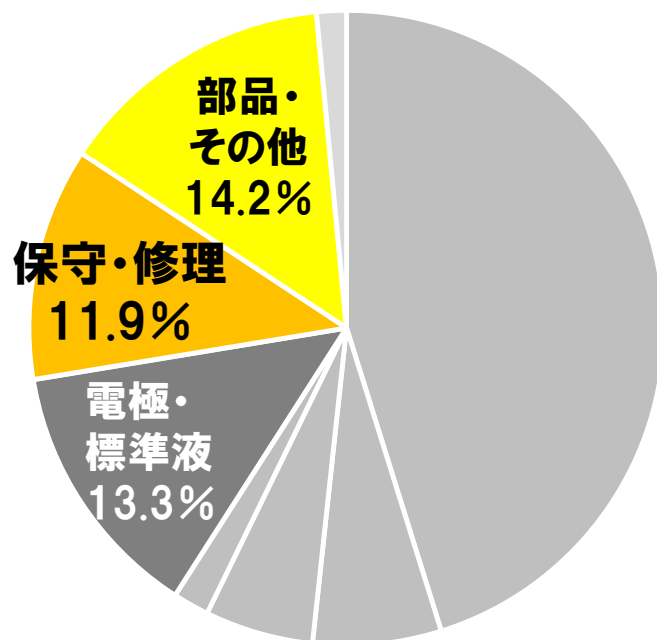
トリハロ
メタン計



水質安全
モニタ

🔍 技術サービス事業の拡大

- 👉 水道管理事業の民間委託化に伴う保守・点検などのニーズ増加に対応
- 👉 定期点検の実施率向上、長期保守契約の獲得



● **水** 深刻な水質汚染に対する規制強化に対応

水質汚染防止法(2017年6月改正)により
水質汚染物排出オンラインモニタリングシステムの設置義務付け

現在の需要

全窒素・全りん/
COD自動測定器

特需に増産対応し、
売上大幅増進



販売強化

重金属自動測定装置



5機種をHACHと
共同開発し、
中国で販売中
(六価クロム、
全クロム、銅、
ニッケル、
マンガンを測定)

<海外>



中国市場での事業展開②



大気

VOC *の排出規制規格の決定を待ち、 提携した中国2社と協業し、受注活動中

(北京牡丹社、重慶SIC社)

*VOC (Volatile Organic Compounds)
揮発性有機化合物でPM2.5の生成物質



提携会社との
技術連携を推進

重慶SIC社の技術
者を山形東亜DKK
に招き研修



中国各地で
当社製品の
ブランド力向上

日中VOC測定
技術交流会
(山東省)



日中国家レベルの
環境技術協力を
強化

第一回日中第三国
市場協力フォーラム
10月26日、北京



中国環境保護部
へのアピール

中国環境監測
総站ご一行の
当社視察

<海外> アジアにおける事業展開



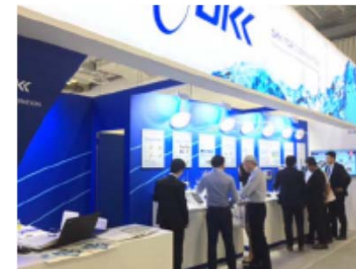
アジアの大規模展示会に出展



5月 IE EXPO 2018
(第19回中国環境博覧会)



6月 CIEPEC 2018
(第16回中国国際環境保護
展示会・会議)



7月 SIWW2018
(シンガポール国際水週間
・水エキスポ)

海外技術研修生の受け入れ



アジア大気汚染研センター (ACAP)
「大気観測技術コース」
参加国:コロンビア、中国、インドネシア、ラオス、
モンゴル、ミャンマー



JICA／北九州国際技術協力協会(KITA)
「水環境行政コース」
参加国:エジプト、スリランカ、ベトナム、モロッコ

上期成果

-  注力した水道用分析計、発電プラント向けボイラー水用分析装置の好調
-  譲り受けた水質計の発売開始
-  中国排水規制に対応し生産増強

下期重点施策

-  国内の環境水質分野、水道分野での受注拡大
-  中国の環境水質・大気分野での受注促進

ご清聴ありがとうございました。

1. 本資料は当社をご理解いただくために作成したものであり、当社への投資勧誘を目的としたものではありません。
2. 本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。
3. 将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上でご利用ください。
4. 業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成しておりますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。
5. 本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、皆様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

＜お問い合わせ＞

東亜ディーケーケー株式会社
経営戦略部 経営企画課
電話：03-3202-0242
メール：ir@toadkk.co.jp